

# 第3学年 音楽科学習指導案

日時 令和元年10月30日（水）第5校時  
対象 第3学年1組 33名  
学校名 立川市立第一小学校  
授業者 松本 莉歩  
会場 音楽室

## 1 単元名「拍のながれにのってリズムをかんじとろう」（B分類）

### 2 単元の目標

◎（知識及び技能）

- ・反復や変化などの音楽を形づくっている要素を理解し、音楽の仕組みを生かして、拍の流れにのってまとまりのあるリズムをつくる技能を身に付ける。

◎（思考力、判断力、表現力等）

- ・拍の流れにのって手拍子でリズムを打ったり、リズムフレーズの仕組みを生かして4小節のリズムをつくったりしながら、どのようなリズムをつくるかについて、思いや意図をもつ。

◎（学びに向かう力、人間性）

- ・まとまりのあるリズムをつくる学習に主体的に取り組むとともに、協働してリズムをつくる活動を楽しむ。

### 3 評価規準

ア知識及び技能	イ思考力、判断力、表現力等	ウ学びに向かう力、人間性
①友達の楽器の音や他のパートの旋律を聴きながら、自分の音を合わせて合奏している。 ②反復や変化などの音楽を形づくっている要素を理解し、まとまりのあるリズムをつくっている。	①リズム、旋律、拍の流れを聴き取り、曲想を感じ取って、それにふさわしい楽器の演奏の仕方を工夫している。 ②リズムの反復や変化を聴き取り、拍の流れを感じながら4分音符と8分音符の組み合わせを工夫し、反復と変化を生かしたまとまりのあるリズムをつくることに思いや意図をもっている。	①拍の流れにのって歌ったり、旋律を階名唱したりする学習にすすんで取り組もうとしている。 ②拍の流れを感じながら、反復や変化などの音楽を形づくっている要素を生かして、まとまりのあるリズムをつくる学習にすすんで取り組もうとしている。

#### 4 単元の指導計画と評価計画（5時間扱い）

時	○主な学習活動	・指導上の留意点	◆評価規準[評価方法]
1	<p style="text-align: center;">曲のかんじを生かしてえんそうしよう！</p> <p>○『ゆかいな木きん』の範唱を聴いて、旋律やリズムを感じ取って歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・範唱 CD を聴き、感じたことや気付いたことを発表し合う。</li> <li>・教師の範唱に続いて歌詞唱する。</li> <li>・全体を通して歌詞唱する。</li> <li>・主な旋律を階名唱する。</li> <li>・膝と手を交互に打つなどして、拍の流れにのって歌う。</li> <li>・手拍子と足の動きを付けて歌う。</li> <li>・グループごとに、演奏する楽器を決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想をつかむように促す。</li> <li>・反復や変化について留意させる。</li> <li>・拍打ちなどで、楽しみながら曲に親しませる。</li> <li>・4分の2拍子を理解させる。</li> <li>・「チャッ」で手拍子、「コン」で足の動きを入れながら歌うようにさせる。</li> <li>・木きん、リコーダー、タンバリン、カスタネットの楽器の中から、自分が演奏する楽器を決めさせる。</li> </ul>	<p>◆ウー① 〔発言・行動観察〕</p>
2	<p>○グループに分かれて演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの旋律を階名唱して、楽器の役割について知る。</li> <li>・グループに分かれて演奏する。</li> <li>・自分の演奏の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指遣いやリズムに気を付けさせる。</li> <li>・楽器の演奏の仕方を知らせる。</li> <li>・曲想にふさわしい演奏の仕方を工夫するように促す。</li> </ul>	<p>◆イー① 〔演奏聴取・行動観察〕</p>
3	<p>○互いの音を聴き合いながら、拍の流れにのって演奏を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれて、演奏する。</li> <li>・自分の演奏の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復や変化について再度確認させる。</li> <li>・友達の演奏の良かったところに目を向けさせる。</li> </ul>	<p>◆アー① 〔演奏聴取・発言〕</p>

4	<p style="text-align: center;">くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくろう！</p> <p>○反復と変化を生かしたまとまりのあるリズムの仕組みに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拍の流れにのって〔もとのリズム〕を演奏する。</li> <li>・〔もとのリズム〕や〔ゆかいな木きん〕のリズムを例として、反復と変化を生かしたリズムの仕組みを知る。</li> <li>・1小節の〔小さいまとまり〕と、2小節の〔大きいまとまり〕をつないでリズムをつくる。</li> <li>・4分音符と8分音符と4分休符を使ってリズムをつくる。</li> <li>・二人一組になって、自分たちのつくりたいリズムを考え、リズムカードを並び変える。</li> <li>・つくったリズムを手拍子で確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4分音符、8分音符、4分休符を使って、4小節のまとまりがつくられていることに留意させる。</li> <li>・つくりたいリズムについて自分たちなりの思いや意図をもたせる。</li> <li>・『曲の感じを表す言葉』カードを配り、活用する。</li> <li>・『かなでてみよう』のソフトの使い方を確認させる。</li> </ul>	<p>◆イー② 〔ワークシート〕</p>
5 本時	<p>○反復と変化を生かした4分の4拍子・4小節のまとまりのあるリズムをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時でつくったリズムカードを生かして、二人一組になってリズムづくりを行う。</li> <li>・「かなでてみよう」でつくったリズムを実際の楽器を使って演奏する。</li> <li>・振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくりたいリズムについて、友達と協力しながら取り組ませる。</li> <li>・『かなでてみよう』のソフトを使って、試行錯誤しながら、自分たちなりのリズムを考えさせる。</li> </ul>	<p>◆ウー② 〔行動観察〕</p> <p>◆アー② 〔演奏聴取〕</p>

## 5 本時（全5時間中の5時間目）

### （1）本時の目標

反復と変化を生かして、4小節のまとまりのあるリズムづくりや演奏にすすんで取り組む。

### （2）展開

時間 －小スタン ダード	主な学習活動	・指導上の留意点	◆評価規準
導入 5分 (最①)	1 前時までの振り返りをし、リズムカードでつくったリズムを確認する。 2 本時のめあてを知る。	・二人一組で、確認させる。	
友達と協力して、くりかえしと変化を生かしたリズムをつくろう！			
展開 35分 (最② ③④)	3 リズムづくりのポイントを確認する。  4 「かなでてみよう」を使ってリズムをつくる。 ・リズムカードを基に、二人一組でリズムづくりに取り組む。  5 つくったリズムを発表する。	・4分音符、8分音符、4分休符を組み合わせてできる2拍のリズムパターンを確認するようにさせる。 ・反復と変化について確認させる。  ・つくりたいリズムについて、友達と協力しながら取り組ませる。 ・自分たちなりのリズムを試行錯誤しながらつくらせる。  ・つくったリズムをモニターに映し、視覚的にもリズムを捉えられるようにする。	◆ウー② 拍の流れを感じながら、反復や変化などの音楽を形づくっている要素を生かして、まとまりのあるリズムをつくる学習にすすんで取り組もうとしている。 [行動観察]  ◆アー② 反復や変化などの音楽を形づくっている要素を理解し、まとまりのあるリズムをつくっている。 [演奏聴取]
まとめ 5分 (最⑤)	6 本時の学習の振り返りをする。	・音楽を形づくっている要素には、反復や変化があることを確認させる。	